

# はぐくむ

## 福岡県手をつなぐ育成会報

発行所  
 公益社団法人  
 福岡県手をつなぐ育成会  
 〒816-0804  
 春日市原町3丁目1番7号  
 福岡県総合福祉センター  
 TEL (092) 584-4374  
 発行人  
 会長 横山利恵子  
 ありがとうございました



この会報は、  
 共同募金の配分を受けて  
 作成したものです。

### 迎春



公益社団法人福岡県手をつなぐ育成会  
 会長 横山 利恵子

喜びや希望を胸に、故郷で新たな年を迎えられ  
 人も多いことでしょう。

しかし、昨年、そんな喜びとやらはらに、能登  
 半島地震が発災しました。また、1月17日で30年  
 を迎える阪神・淡路大震災などの自然災害の脅威  
 も刻みこまれていくでしょう。

世界に目を転じれば、ウクライナや中東の情勢  
 に心を痛めます。早期の和平がなされることを  
 願ってやみません。

### 防災庁の設置を願って

大規模な自然災害に向け政府は、「防災庁」の設  
 置を明言しています。イタリアなどを手本に災害  
 時の対応や災害関連死をはじめ二次被害を防ぐ  
 ことなどを目的としています。

平成29年7月の九州北部豪雨災害時に、被災地  
 の朝倉市の避難所を訪ねました。地域の体育館に  
 被災者が「雑魚寝」している状況でした。舞台上に  
 ペットボトルの飲料水や食料の入った段ボール  
 が積み上げてありました。

障がいのある子の母親は、避難所の担当者にお  
 願いし「一時的に施設の個室」を使用する許可を

得ました。

しかし、長く利用(占有)することはできません  
 ので、自ら「みなし仮設(アパート)」を探したとい  
 います。また、非常食が食べられず、食料の調達  
 に苦労したと聞きました。

石破総理は「二次被害は人災」と言われました。  
 「温かな食べ物」「快適な避難所」は、被災者の心を  
 温め、二次被害を防ぐ大切なアイテムではないで  
 しょうか。

また、発災直後のライフラインの復旧などは、  
 政治の力で何とかなるかもしれませんが、被災者  
 の心の痛みはそれぞれに違います。臨床心理士な  
 どの被災者に寄り添ったアウトリーチ<sup>※</sup>が「人災」  
 を防止する手立てになると信じてやみません。

※アウトリーチ (4頁)言葉の辞典参照

### 昨年の活動を振り返り

会員の高齢化は、本会だけでなく全国の育成会  
 の課題でもあります。だからといって活動が低調  
 化したわけでもありません。各地域育成会(親の  
 会)は創意工夫して事業を展開しています。

昨年、啓発キャラバン隊「ちつきや(筑後市)」「  
 「まどか(大野城市)」「つばさ(社会福祉法人翼  
 会)」の活動をはじめ、久留米市育成会の事業所  
 「あすなろ」が開設した「日々&cafe」は、地域の交  
 流の場となっています。「手をつなぐ」12月号参

照)。また、糸島市親の会では長年にわたり先生  
 方と協力して野外活動(キャンプ)を実施してい  
 ます。紙上に記載できないほど会員からの報告が  
 あります。

他方、役員のみならず、やむなく退会した親  
 の会がありました。本会の正会員数は、さほど変わ  
 りはないのです。それは、個人会員の増加の為で  
 す。しかし、会費収入減は否めないのです。

その対策も含め、令和7年度は、次にあげる募  
 集活動を進めたいと考えています。

### 特別団体賛助会員(仮称)の募集活動

70年以上の私たち育成会の活動は貴重な財産  
 です。(一社)全国手をつなぐ育成会連合会と協力  
 して障がい者福祉サービス事業所(特に放課後等  
 デイサービス事業所)を対象に会員募集を実施す  
 る取り組みを実施します。事業所が、特別団体賛  
 助会員になれば、次のような利点があります。

- 先輩の親としての講師を派遣
- ICTを活用した、専門家による家族や職員  
 の研修会(ICT・情報通信技術)
- 「手をつなぐ」の配布

会員の皆様には、今月中に募集要項などを送り  
 ますので、ご支援ご協力をお願いします。

### これからの行事等

#### ◎令和6年度

第2回福岡県知的障がい者相談員研修会

2月2日(日)13:00~15:30

クローバープラザ 西棟501研修室

#### ◎3月理事会

3月6日(木)10:30~12:00

クローバープラザ 東棟6階福祉特1会議室



第63回九州地区手をつなぐ育成会 宮崎大会  
 「ひなたの国 宮崎大会に参加して」  
 大野城市手をつなぐ育成会 会長 赤井田八千代

令和6年11月9日(土)宮崎市民プラザにて開催されました。大会テーマ「笑顔で安心して暮らせるこころ豊かな社会を目指して」佐々木桃子全育連会長より「社会は少しずつ変化し、障害福祉サービスも、様々整備されてきましたが、知的障がいのある本人家族は、いまだに漠然と不安を抱えながらの日々を暮らしています。今大会により実践に繋がる大会になることを期待」との挨拶を受け、漠然としたものがカタチになることを大いに期待しながら、国・県・市、そして私たち各育成会活動で本人家族がこころ豊かに生活していくことを胸に刻みました。

◆第1部 令和6年度中央情勢報告

(一社)全国手をつなぐ育成会連合会

常務理事兼事務局長

又村あおい氏

法制度のつごき、成年後見制度の見直し等、意思決定支援の重視では、本人同席の法定化とし、権利であること。令和6年4月に改正された「障害者差別解消法」について等。

◆第2部 全体会

テーマ「自分の事は自分で決める意思決定支援の在り方」として、4名の発表者(保護者・施設・後見人・相談支援者)それぞれの立場からの話を聞きました。

本人大会も同時に行われ、皆さん元気に本人大会決議を読まれました。

「私たちの声を聴いて」をテーマに大災害が起きて考えたことや、日頃の悩み、楽しみ、夢について語り合い、私たちのことを決めるときは、必ず私たちの意見を聞いてください。

\*私たちが困っているときは、話を聞いて助けてください。一人の人間として尊重してください。

\*私たちの働ける場所を増やしてください。安心して日常の生活を送れるように、年金をしきゅうしてください。

\*大きな災害が起きた時に、すぐに相談できて、安心して過ごせる場所をつくってください。

\*私たちが好きな人と結婚して、地域の中で、自分たちらしくいあわせに暮らせるように、応援してください。

\*私たちのやりたいことを、「できないだろう」と決めつけずに、チャレンジさせてください。

私たちも頑張ります。大きな声で読み上げられ、全てが叶えられる社会になることを期待して、私たち保護者や大人ができる事を真剣に考えていかなければと思います。

今回、九州大会に参加し

て、「笑顔で安心して暮らせるこころ豊かな社会を目指して」地域で、私たちができる事をそれぞれの地域育成会に持ち帰り、誰もが幸せになるように、活動をしていきたいと改めて考えました。

九州大会会長表彰  
おめでとうございます

- ◎大野城市手をつなぐ育成会 会長 赤井田八千代氏
- ◎芦屋町手をつなぐ親の会 事務局長 米田 利夫氏



大野城市手をつなぐ育成会 赤井田八千代氏(左から2人目)



芦屋町手をつなぐ親の会 米田 利夫氏

受賞の喜びの言葉

米田 利夫氏

「今後も行政、教育機関等との連携を深め知的・発達障がい児者への理解を図るため、疑似体験活動、学習会、研修会を積極的に進めていきます」

令和6年度  
福岡県地域生活支援事業報告  
〈生活訓練事業〉

- エンゼル
- はるかぜ福祉会
- 山びこ
- 〈レクリエーション事業〉
- 中間市育成会
- 遠賀町親の会
- 芦屋町親の会
- 糸島市親の会

# こんにちは！ 事務局訪問 No.4 地域活動支援センター 山びこ

福岡県育成会の資料によれば、平成13年に「共同作業所 山びこ」は本会会員となり、今年で24年目を迎えます。重い障がいのある子どもの親である代表の秋山和範氏は、地域の障がいのある子どもたちの就学後の受け皿としてこの「山びこ」を設立されました。



## 山びこの作業

現在、利用者は4名となっていますが、各自の能力に応じて作業を行っていました。訪問した時は、企業からの請負でプラスチックの部品の研磨作業を行っていました。(写真左)

## 山びこの行事

### ★障がい者団体との交流会

令和6年度は、バーベキュー大会を実施し、他の障がい者や地域の方たちとの交流や親睦を深めました。

### ★食事会、餅つき、校外学習

校外学習では海響館などへ行きました。

### ★中学生との交流

地域の中学校の総合学習の一環として協力して実施しています。

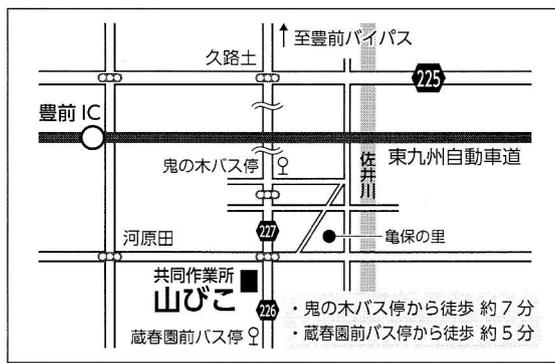


交流会：バーベキュー大会

## 訪問記

山びこは、東九州自動車道の豊前ICを南に進み、県道226号線を西に5分ほど行ったところにあります。国道沿いとは違って、田園地帯で環境の良い場所にあります。

「山びこ」の玄関に立った時、杉かケヤキが分かりませんが「共同作業所 山びこ」と書かれた扁額が私を出迎えてくれました。きっと、秋山代表の設立時の強い思いがこの文字に込められていると感じました。



## 地域活動支援センター 山びこ

代表 秋山 和範

所在地 〒828-0056 豊前市薬師寺593-1

電話・FAX 0979-82-0693

## 地域活動支援センターとは

ご存知のように、共同作業所は昭和44年、名古屋市の「ゆたか作業所」が始まりとされています。養護学校卒業後の進路保障などを目的として全国に広がっていきました。小規模作業所ともいわれています。平成16年4月障害者自立支援法、その後の障害者総合支援法により障がい者の福祉サービスの一元化がなされました。

平成13年前後の広報誌「はぐくむ」には、小規模作業所の「法定化」の問題や課題が散見されます。

秋山代表は、企業の請負の材料の受取やできた製品の納品に宇佐市まで往復されています。

報酬改定の恩恵は「地域活動支援センター」に…と問わずにはられません。

障害者総合支援法 第5条 27 この法律において「地域活動支援センター」とは、障害者等を通わせ、創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流の促進その他の厚生労働省令で定める便宜を供与する施設をいう。

全国手をつなぐ育成会連合会 発行  
**情報・交流誌「手をつなぐ」**

◇機関誌「手をつなぐ」購読ご希望の皆さまは  
 本会事務局にお申し込みください。

・年間購読料 一口 3,900円 (送料別)

※送料は口数によって異なり、一口(1冊)の  
 場合は年間240円です。

【購読料のうち一口当たり50円は災害発生時の  
 見舞金や支援活動資金に充てられます】

手をつなぐ11/12月号表紙



**広報からのお知らせ**

- ◎紙面の文字を基本12ポイントにしました。  
 また、丸ゴシック系の文字を主体にしました。
- ◎136号から「本人活動(仮題)」のコーナー  
 を設けます。本人の意見、質問などわか  
 りやすい言葉で取り上げていきます。

**会員・賛助会員 募集中!**

【賛助会員会費は次の通りです】

知的障がいのある人たちが、ノーマライゼーション  
 の理念の下、自立した地域生活をおくるために必要な  
 運動を活発に展開するには、賛助会員の方々の支えが  
 必要です。

是非、ご協力をお願いします。

- ◆会費(個人会員) 1口 2,000円/年
- ◆会費(団体会員) 1口 10,000円/年
- ◆会報「はぐくむ」で活動内容をお伝えします。

【ご入会については事務局までお問い合わせください】

公益社団法人 福岡県手をつなぐ育成会  
 電話: 092-584-4374 FAX: 092-584-4378

E-mail: info@fk-ikusei.org

HP: https://fk-ikusei.org/

いくせい かい ことば してん  
**育成会の言葉の辞典**

—アウトリーチ—

Outreach 直訳すれば「手を伸ばすこと」。具体的に言えば、  
 移動図書館、開業医の「往診」、福祉での「訪問介護」など、直接地  
 域や家庭に向き支援することなどがあげられます。

研修会やワークショップなどを開催してもどうしても参加者は  
 限定的になります。そこで登場するのがICTの活用です。詳細は省  
 きますが、「住民主体のまちづくり」や世界をまたにかけた学術会  
 議・シンポジウムまでアウトリーチの考えが活かされています。

近年の自然災害や不登校・ひきこもり・児童虐待防止の問題に  
 対してもソーシャルワーカーが直接出向き、関係機関  
 と連携を図るなどのアウトリーチを行なっています。



編 集 後 記  
 へん しゅう こう き

藁(わら)をもすがる思いで訪ねたクリニッ  
 クのドクターは、長い間私たち家族を優  
 しく支えてくださいました。

そのドクターが昨年ユーチューブチャ  
 ンネルを開設し、当事者や家族の体験談  
 やアウトリーチをおこなって来た方々の  
 経験と現場の話の動画配信を始められ、  
 私にも取材の依頼がありました。第1回  
 目の取材は、産まれきた子どもに障がい  
 があるかわかった時から、私が子ども  
 の障がいを受容するまでの話でした。

30年以上前の話ですが、誰かの何かの  
 お役にたてればと思ひ、引き受けました。  
 「今は、社会資源も身近にあり、障がい  
 のある人たちがテレビや映画で見かける  
 ことも珍しくない社会になりました」と、  
 お話するとドクターは、先を歩いてこ  
 られたお母さんたちの活動があったから  
 こそですね。とおっしゃいました。

取材を通じて、育成会活動のことを思  
 い出す機会となり、障がいのある子ども  
 が私に教えてくれた大切なメッセージを  
 あらためて確信しました。

新しい年を迎えるにあたり、このよう  
 な機会をいただき感謝いたします。

(七子)